Panasonic

新製品情報
UV-B電球型蛍光灯反射傘セット

紫外線を照射することで、植物病害を抑制し、農薬の散布回数減。

■ UV-B電球形蛍光灯反射傘セット
UV-B電球形蛍光灯＋反射傘：6セット入（1キット）

SPWFD24UB1PA
SPWFD24UB1PB

SPWFD24UB1PA

SPWFD24UB1PB

特　長

1. 紫外線（UV−B）による植物病害抑制
2. 農薬散布回数削減で安心・安全
3. コンパクト・取付け簡単、長寿命（約4,500時間）

紫外線（UV−B）による植物病害抑制

（イチゴうどんこ病）
葉への適度なUV−B照射により免疫機能を活性化させることで、うどんこ病の発生を抑えます。

〔未照射〕

〔照射〕

農薬散布回数削減で安心・安全

UV-B照射による発病抑制効果分の農薬の使用量を減らせるので、散布の手間・人体への影響を抑えられ、同時に安全性の高い減農薬作物を生産できます。

コンパクト・取付け簡単、長寿命（約4,500時間）

電球形蛍光灯と同じコンパクトな形状のため、取付けはE26口金に取付けるだけです。また、UV-B照射効果の持続時間は約4,500時間と長寿命※を実現します。

※当社実験結果であり、品質保証期間ではありません。
※夜間3時間で年間8ヶ月点灯の場合、約6年間に相当します。

1 反射傘の溝とUV-B電球形蛍光灯のストッパーの位置を合わせて、図のように反射傘を蛍光灯の口金方向から取り付けてください。

2 取り付け後、蛍光灯を90°回転させ、反射傘がぐらつかないことをご確認ください。

3 ソケットに取り付けてください。

〔SPWFD24UB1PA〕　〔SPWFD24UB1PB〕

＊エビデンス情報：福島県農業総合センター様の圃場（4m²）にてイチゴうどんこ病を抑制することを検証。
＊この商品は病害の被害を軽減することはできますが、病害をゼロにできるものではありません。

■ UV-B電球形蛍光灯反射傘セット

＊セット：UV-B電球形蛍光灯と反射傘の組を表します。

品　番	希望小売価格（税抜）（円）	御注文品番	POSコード	納期区分	標準梱包	寸法（mm） ランプ外径	ランプ長さ	質量（g）	口金	周波数（Hz）	定格電圧（V）	定格電流（A）	定格消費電力（W）	紫外線強度維持率（%）	寿命（平均値）（h）
SPWFD24UB1PA	オープン価格*	SPWFD24UB1PA	4549077208507	△（受注生産商品）	6セット×1	61.4	153	223	E26	50/60併用	100	0.38	24	60<	4500
SPWFD24UB1PB	オープン価格*	SPWFD24UB1PB	4549077360786	△（受注生産商品）	6セット×1	61.4	153	223	E26	50/60併用	100	0.38	24	60<	4500

- 製品の定格およびデザインは改善等のため予告無く変更する場合があります。
- ご使用の際、包装箱に入っている「取扱い上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。
＊寿命（平均値）は紫外線量に基づき設定しており、保証値ではありません。

ご注意

- 照射光は紫外線となります。一般照明などの用途には絶対にご使用にならないでください。
- 眼に障害のおそれがあります。ランプを直視しないでください。
- 皮膚に障害のおそれがあります。光を皮膚にさらさないでください。

設営の目安

UV-B電球形蛍光灯セットの運用方法と設置方法

必須の運用条件

- ●夜間0時～3時までの3時間のみ点灯してください。
- ●タイマーを設置し、点灯時間を管理してください。
- ●施錠等により施設を管理してください。
- ●出入口のそばに消灯スイッチを設置し、ハウスに入る時は消灯してから入ってください。
- ●本製品は、点灯4,500時間で交換してください。

- ● 内容につきましては改善等のため予告無く変更する場合があります。ランプ同梱の取扱説明書と相違がある場合は、本書の最新版をご参照ください。
  http://panasonic.co.jp/es/pesld/products/others.html
- ● ご使用の際、ランプ同梱の取扱説明書の「取扱い上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ● UV-B電球形蛍光灯の取付けには、防水ソケットをご使用ください。

■ SPWFD24UB1PA

本ぽでの運用方法と設置方法 (イチゴの例)

10月～5月の8ヶ月点灯させます。

苗場での運用と設置方法 (イチゴの例)

育苗期となる6月中旬～9月中旬の3ヶ月点灯させます。

■ SPWFD24UB1PB

本ぽでの運用方法と設置方法 (イチゴの例)

10月～5月の8ヶ月点灯させます。

ハウス間口が 6～10mの場合

ハウス壁からは0.5～2mまでの位置に設置してください。
適切な効果が得られない場合があります。

:UV-B電球形蛍光灯+反射傘　:消灯スイッチ(出入口の外側)

苗場での運用と設置方法 (イチゴの例)

育苗期となる6月中旬～9月中旬の3ヶ月点灯させます。

エビデンス情報

※ 2015年6月現在

対象	取得年月・状況	作物	試験先様
うどんこ病	2014年6月 済	イチゴ	福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科様
白さび病	2015年3月 済	キク	鹿児島県農業開発総合センター
ハダニ	試験中	イチゴ	滋賀県

現場実証試験情報

※ 2015年6月現在

対象	状況	作物	試験先都道府県（五十音順）
うどんこ病	実施中	イチゴ	大分県、滋賀県、静岡県、栃木県 兵庫県、福島県、宮城県
白さび病	実施中	キク	愛知県、鹿児島県

（参考）一般に公開されているUV-B照射に関する情報

対象	作物	著者	題目・出典先
うどんこ病	イチゴ(育苗)	松浦克成・神頭武嗣・山田真・石渡正紀	紫外光(UV-B)照射によるイチゴ育苗期におけるイチゴうどんこ病防除 関西病虫研報(52), 85-86, 2010 短報
	イチゴ	神頭武嗣・松浦克成・小河拓也・宇佐見俊行・雨宮良幹	紫外光(UV-B)照射によるイチゴうどんこ病の防除 植物防疫65(1), 28-32, 2011-01
	バラ	小林光智衣・藤川貴史・佐藤衛・久松完・神頭武嗣・山田真・石渡正紀	紫外光照射(UV-B)によるバラうどんこ病の発病抑制 植物防疫68(2), 53-57, 2014-02
	トマト苗・きゅうり苗	小林智之・山田真	UV-B照射がキュウリとトマト苗の病害抑制および障害発生に及ぼす影響 園芸学会平成27年度春季大会
	パセリ	山岸菜穂・中村憲太郎・中塚雄介・有井雅幸・服部玄・上久保和芳・小木曽秀紀・石山佳幸	長野県における紫外線B波(UV-B)照射によるパセリーうどんこ病の発病抑制効果の検討 関東東山病害虫研究会
ハダニ	―	村田康允・刑部正博	ハダニに対するUVBの致死効果と光回復 植物防疫68(9), 539-543, 2014-09
	メロン	増井伸一・片井祐介・山田真・青木慎一・桜井尚史・刑部正博	温室メロンにおけるUV-B照射によるハダニ防除の効果と実用化のための課題 植物防疫68(9), 544-548, 2014-09
白さび病 ハダニ 灰色カビ病・うどんこ病	キク カーネーション バラ	農林水産省委託プロジェクト研究『国産農産物の革新的低コスト実現プロジェクト』『光花きコンソーシアム』	「光で花の病害虫を抑制する【紫外線(UV-B)光源の利用の可能性】」 https://www.naro.affrc.go.jp/flower/index.html

2015年8月発行